「治安対策（体感治安、防犯カメラ、少年の非行、犯罪に対する不安）」

に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

平成21年度以降、大阪府では警察や市町村と連携して、街頭犯罪（注）や子どもの犯罪被害の防止に向けた取組みを重点的に実施している。事業開始から10年が経過することから、防犯対策に対する府民ニーズの変化等をとらえ、より効果的な取組みを推進していくことを目的に本調査を実施する。

注）街頭犯罪とは、府民生活の身近な場所である街頭において発生する「ひったくり」「路上強盗」

　「オートバイ盗」「車上ねらい」「部品ねらい」「自動車盗」「自転車盗」の７手口をいう。

1. 調査（検証）項目
	* + 1. 体感治安について

・府内におけるエリア別の体感治安

* + - 1. 防犯カメラについて

・防犯カメラの増設に対する認識度

・効果的だと思う防犯カメラの設置場所

・身近な場所への防犯カメラ設置に対する賛否

・防犯カメラ映像の捜査機関等への提供についての賛否

仮説１：住んでいる地域の治安が悪いと感じている人の方が、良いと感じている人に比べ、防犯カメラ設置や捜査機関等へのカメラ映像の提供について肯定的である。

仮説２：女性の方が、男性に比べ、防犯カメラ設置や捜査機関等へのカメラ映像の提供について肯定的である。

仮説３：子どものいる家庭の方が、子どもがいない家庭に比べ、防犯カメラ設置や捜査機関等へのカメラ映像の提供について肯定的である。

* + - 1. 少年の非行について

・不良行為をしている少年を見かける頻度

・不良行為をしている少年が、2、3年前と比較して増えたと感じる割合

* + - 1. 犯罪に対する不安について

・犯罪にあうかもしれないと不安になる場所として「インターネット空間」をあげる割合

・被害にあうかもしれないと不安になる犯罪として「インターネットを利用した犯罪」をあげる割合

仮説１：若年層及び中間層の方が、高齢層に比べ、インターネットを利用した犯罪について、不安に思っている人が多い。

1. 調査対象

　国勢調査結果（平成27年）に基づいた、性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、

18歳以上の大阪府民1,000サンプル

1. 質問項目

予備質問　６問

SC1　　性別

SC2　　年齢

SC3　　都道府県

SC4　　市町村

SC5　　区（大阪市、堺市のみ）

SC6　　職業

本質問 22問

Q１　高齢者・子供の有無(MA)

Q２　大阪府の体感治安(SA)

Q３　【大阪府は治安が良くないと答えた人】治安が良くないと思う理由

（犯罪発生状況関連）(MA)

Q４　【大阪府は治安が良くないと答えた人】治安が良くないと思う理由（住環境関連）(MA)

Q５　住んでいる地域の体感治安(SA)

Q６　【住んでいる地域は治安が良くないと答えた人】治安が良くないと思う理由

（犯罪発生状況関連）(MA)

Q7　【住んでいる地域は治安が良くないと答えた人】治安が良くないと思う理由

（住環境関連）(MA)

Q８　街頭犯罪や子どもの犯罪被害の防止策として効果的な取組み(MA)

Q９　公共空間での防犯カメラ増加の認知(SA)

Q10　防犯カメラ増設に対する賛否(SA)

Ｑ11　【防犯カメラ増設を肯定した人】効果的な防犯カメラの増設場所(MA)

Q12　身近な場所への防犯カメラ設置に対する賛否(SA)

Q13　防犯カメラ映像の捜査機関等への提供についての賛否(SA)

Q14　不良行為をしている少年を見かける頻度(SA)

Q15　不良行為をしている少年を見かける頻度について、2、3年前との比較(SA)

Q16　少年に対する声かけ活動等への参加の有無(SA)

Q17　【少年に対する声かけ活動に参加したことがある人】参加した活動の種類(MA)

Q18　【少年に対する声かけ活動に参加していないが見たことがある人】見たことがある

活動の種類(MA)

Q19　【少年に対する声かけ活動に参加した人又は見たことがある人】声かけ活動の頻度に

ついて、２、３年前との比較(SA)

Q20　【少年に対する声かけ活動を見たことがある人又は知らない人】声かけ活動に参加

しない理由(MA)

Q21　犯罪にあうかもしれないと不安に思う場所(MA)

Q22　被害にあうかもしれないと不安に思う犯罪(MA)

1. 仮説検証

仮説１　Q５×Q10、Q５×Q12、Q５×Q13

仮説２　SC1×Q10、SC1×Q12、SC1×Q13

　　仮説３　Q1×Q10、Q1×Q12、Q1×Q13

　　仮説４　SC2×Q21、SC2×Q22